

6月 13-19 日

サムエル第二 11-12 章

121 番の歌と祈り

開会の言葉 (1 分)

神の言葉の宝

「欲望にコントロールされてはならない」 (10 分)

宝石を探し出す (10 分)

サム二 12:13 ダビデはナタンに言った。「私はエホバに対して罪を犯しました」。ナタンはダビデに言った。「エホバはあなたの罪をお許しになります。あなたは死ぬことはありません。」

エホバがダビデとバテ・シバを処刑しなかったことには、どんな理由があったか。

(洞-2 151 ページ 1 節) しかし、エホバは見ておられ、この不届きな事件の全容を暴露されました。もし、ダビデとバテ・シバの件がモーセの律法のもとで人間の審判者によって扱われることをエホバが許されたとしたら、その悪行者たちは二人とも処刑され、姦淫によって宿された胎内の子ども、言うまでもなく母親と共に死んでいたはずです。(申 5:18; 22:22) しかしエホバはこの件をご自身で扱われ、王国契約のゆえにダビデに憐れみを示されました。(サム二 7:11-16) それはまた、ダビデ自身が憐れみを示していたため(サム一 24:4-7、ヤコ 2:13 と比較)、さらには、この悪行者たちの悔い改めを神がご覧になったためでもあったに違いありません。(詩 51:1-4) しかし二人は、すべての処罰を免れたわけではありません。エホバは預言者ナタンの口を通し、「見よ、わたしはあなたに対して、あなたの家から災いを起こそうとしている」と宣言されました。—サム二 12:1-12。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

(サム二 12:26-28) アンモンのラバを攻囲した際、ヨアブはエホバの油そそがれた王であるダビデへの忠節を証明した。しかし、ダビデは後にソロモンにアブネル殺害による血の罪の報いとして、ヨアブの処罰を託している。それで、どんなに表向きの功績を積んでも、真の悔い改めがないなら、罪が許される訳でないことを学べる。同様の血の罪を負ったダビデとヨアブの対比からも、真の悔い改めとはどういうものか、どれほど大切なのか、を教えられた。

聖書朗読 (4 分) サム二 11:1-15 (教励 第 10 課)

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分） [話し合いのサンプル](#)を用いて話し始める。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を使って聖書レッスンを勧める。（[教励 第11課](#)）

再訪問（4分） [話し合いのサンプル](#)を用いて話し始める。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を提供し、[レッスン 01](#)から聖書レッスンを始める。（[教励 第13課](#)）

聖書研究（5分） [暮 レッスン 05 副見出し 5](#)（[教励 第15課](#)）

クリスチャンとして生活する

[29 番の歌](#)

「[自分の欲求をコントロールしましょう](#)」（15分）討議。「[煙と一緒に消えないで！](#)」の動画を再生する。

会衆の聖書研究（30分） [暮 レッスン 08](#)

閉会の言葉（3分）

[28 番の歌](#)と祈り

[^（サム二 11:1-12:31）](#) 年の初め*、王たちが戦いに出掛ける頃、ダビデはアンモン人を滅ぼすため、ヨアブと家来たちとイスラエルの全軍を派遣した。彼らはラバを包囲した。一方、ダビデはエルサレムにとどまっていた。2 ある夕暮れ時、ダビデはベッドから起き上がり、王の家*の屋上を歩いていた。屋上から、1人の女性が体を洗っているのが見えた。非常に美しい女性だった。3 ダビデはその女性について調べさせたところ、「ヘト人ウリヤの妻で、エリアムの娘バテ・シバです」という報告があった。4 ダビデは使者たちにバテ・シバを連れてこさせた。こうして彼女はダビデの所に来て、ダビデは彼女と寝た。（彼女が汚れ*から自分を清めている期間に起きたことだった。）その後、彼女は家に帰った。5 バテ・シバは妊娠した。それで人を遣わしてダビデに、「子供ができました」と伝えた。6 そこでダビデは人を遣わしてヨアブに、「ヘト人ウリヤを私の所に送きなさい」と伝えた。ヨアブはウリヤをダビデの所に送った。7 ウリヤがやって来ると、ダビデは、ヨアブはどうしているか、兵士たちはどうしているか、戦いはどうなっているかと尋ねた。8 それからダビデはウリヤに言った。「家に帰ってくつろぎなさい」。ウリヤは王の家から出ていき、王からの贈り物*がその後に続いた。9 ところが、ウリヤは王の家の入り口の所で、王のほかの家来たち皆と一緒に眠った。自分の家には帰らなかった。10 ダビデに、「ウリヤは家に帰らなかった」という報告があった。それでダビデはウリヤに言った。「遠征から戻ってきたのではないですか。どうして家に帰らなかったのですか」。11 ウリヤはダビデに答えた。「箱もイスラエルとユダの兵士たちも天幕にとどまり、私の主人ヨアブも主人の家来たちも野原で宿営しています。それなのに、私は家に帰って飲み食いし、妻と寝るのでしょうか。生きているあな



神の言葉の宝

欲望にコントロールされてはならない

ダビデは心の中で欲望が育つままにした。(サムニ 11:2-4。塔研 21.06 17 ページ 10 節)

ダビデは、自分の犯した罪を隠すために権限を乱用した。(サムニ 11:5, 14, 15。塔研 19.09 17 ページ 15 節)

ダビデは、犯した罪の結果に苦しんだ。(サムニ 12:9-12。塔研 18.06 17 ページ 7 節)

不適切なものを見たり考えたりすることを避けるには、自分を訓練する必要がある。(ガラ 5:16, 22, 23) 心に欲望が根を下ろすことがないように、エホバは私たちに力を与えてくださる。

考えてみよう: 「自分にとって、考えを特にコントロールすべきなのはどんな分野だろうか」。

クリスチャンとして生活する

自分の欲求をコントロールしましょう

私たちは不完全なので、自分の欲求をいつもコントロールする必要があります。何でも自分のしたいようにするなら、エホバとの絆を失うことになりかねません。ある人たちは、衣食住に対する欲求が神への愛よりも強くなるままにしています。神の基準に反する仕方での性的欲求を満たそうとする人もいます。（[ロマ 1:26, 27](#)）他の人に好かれたい、また、受け入れてもらいたいと思うあまり、周りからの圧力に屈してしまう人も…。（[出 23:2](#) 悪を行う群衆に従ってはならない）

では、どうすれば自分の欲求を制御できるでしょうか。エホバに喜ばれる事柄に思いを向けるよう懸命に努力する必要があります。（[マタ 4:4](#)）また、自分の欲求をコントロールできるようエホバに助けを求めることも大切です。なぜでしょうか。エホバは、私たちにとって何が最善かをご存じで、私たちの願いをかなえる方法を知っておられるからです。（[詩 145:16](#)）

「煙と一緒に消えないで！」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

1. ある人たちがたばこを吸うのはなぜですか。

皆が吸っている。ストレスのせい。なんとなく興味がある。

（ロマ 12:1）理性的に考えるように勧めている。ただ皆に合わせるのではなく、良く考えて行動。多くの人がたばこ会社の宣伝の罠にはまっている。

2. たばこを吸うとどんな影響を受けますか。

身体に大きなダメージを与える。見た目にも影響がある。

癌や心臓発作、その他の病気で死ぬ確立が高くなる。

3. たばこや電子たばこを吸うことは間違っている、と言えるのはなぜですか。（[コリ二 7:1](#) 体と精神のあらゆる

汚れを除き去って自分を清め、神への畏れを抱いて神聖さを完成させていきましょう）

しかも自分だけの問題ではない。副流煙で周りの人にも迷惑を掛ける。

電子たばこも安全ではない。

電子たばこは普通のたばこより安全だと宣伝されてきたが、重い病気や死亡のリスクがあると専門家は指摘。普通のたばこと同様やめられなくなることがある。結局美味しい思いをするのはたばこ会社。

4. たばこを勧められたら、どのように断ることができますか。たばこの習慣をやめるためにどんなことができますか。

「要らない」「たばこは吸わないんだ」と言う。「身体に悪いから吸わないことにしている」とも言える。

たばこの習慣から抜け出せなくなっていて止めるのは無理だと思っても、抜け出す方法がある。

①誰かに相談してみる。禁煙できた人にアドバイスを求める。

②たばこを吸いたくなる状況を避ける。

③大切な祈ること。吸いたくなったら真剣に祈る。

（[詩 18:29](#)）神の力によって城壁をよじ登れるとあり、例え大きな壁に思えても、努力は必ず報われる。

どんなたばこも吸わないと決意する。そうすれば、身体健やか、心軽やか、空気爽やか、煙にさよならする